



2016～2017 年度

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区

【 次期三役セミナー資料 】



日時：2016年5月26日（木）

場所：新宿京王プラザホテル



ライオンズクラブ国際協会330-A地区
『次期三役セミナー』
次 第

	進行：キャビネット副幹事	L 中村 安次
1. 開会	キャビネット幹事	L 進藤 義夫
2. 出席者ご紹介	キャビネット副幹事	L 湯川 麻美子
3. 資料説明	キャビネット幹事	L 伊藤 一美
4. ガバナー挨拶	ガバナー	近藤 正彦
5. ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト	L 村木 秀之
6. セミナー	進行：次期キャビネット副幹事	L 御厨 正敬
第一部		
① ライオンズクラブの歴史ハイライト DVD 上映		
② 国際会長紹介・方針説明	ガバナーエレクト	L 村木 秀之
③ ガバナー方針・キャビネット運営について	ガバナーエレクト	L 村木 秀之
④ 3役の役割について	会長・幹事：次期キャビネット幹事	L 篠 順三
	会計：次期キャビネット会計	L 田中 忠男
⑤ eMMRサバンナとMyLCIについて	次期IT委員会 委員長予定者	L 佐原 幸雄
⑥ 次期主要事業について	次期ガバナー補佐官・CAB運営委員長	L 高桑 昌彦
～ 休 憩 ～		
第二部		
⑦ 各委員会趣旨説明		
	1) 次期FWTコーディネーター予定者	L 鈴木 令子
	2) 次期指導力育成委員会 委員長予定者	L 野々 晴久
	3) 次期広報情報委員会 委員長予定者	L 赤尾 嘉晃
	4) 組織再編・コンプライアンス委員会 委員長予定者	L 脇村 孝友
7. 質疑応答		
8. 次期幹事団紹介	次期キャビネット幹事	L 篠 順三
9. 閉会	次期キャビネット会計	L 田中 忠男

【 ご 挨拶 】



2016～2017 年度

ライオンズクラブ国際協会

330-A 地区

ガバナーエレクト L 村木 秀之

(東京数寄屋橋ライオンズクラブ)

330-A 地区ライオンズクラブのメンバーの皆様におかれましては、日頃よりライオンズクラブ活動に、ご尽力ご活躍されていらっしゃることに、心より感謝と敬意を表します。2016年4月17日の地区年次大会代議員総会におきまして、多くの方々のご支援により第63代ガバナーとしてご信任をいただき、誠にありがとうございました。ライオンズクラブ100周年にあたる地区ガバナーを拝命することは身に余る光栄と心より感謝申し上げますと同時に、その責任の重さを改めて痛感致しております。

そして、5年前の東日本大震災からの復興も未だ道半ばにもかかわらず、4月14日、九州地方を襲った地震による大災害が、またもや我が国を震撼させ、耐え難いほどの困難と先の見えない不安を多くの人々にもたらしています。被災された方々に衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、私は、次期キャビネットを運営するにあたり、特に三つのことを大切にしています。

一つ目は、「相互理解」です。メンバー各位の融和を、地区運営の一番大切なものとして運営してまいります。

二つ目に、奉仕活動の原点であるクラブアクティビティを全力で応援し、ライオンズクラブが100周年を迎える次期に、地域で輝く魅力あるクラブになりますよう支援いたします。

三つ目は、ライオンズ100周年の後、このライオンズクラブ330-A地区を支えていただく人材を育てていくことです。

ガバナーは、地区運営の責任者であると同時に、クラブを応援し、メンバーの皆様を励まし勇気づけるのが、役務だと認識しております。その責任の重さに身の引き締まる思いでございますが、日々勉強を積み重ね、微力ながら330-A地区の発展の為にお役にたてるよう一生懸命で努力してまいります所存でございます。

どうか、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【 アクティビティ・スローガン 】

100周年 誇りを胸に 飛躍させよう ライオニズム

【 ガバナーズ・スローガン 】

よき伝統と 新しい 息吹を紡ぎ 織りなして 明日につなげる We Serve

【 ガバナーズ・テーマ 】

100周年 未来を見据え 叡智を絞り考えて 極めよう奉仕の世界

【 バナーとピンバッチ 】

バナー



江戸時代からの数寄屋橋の変遷をテーマに、100周年記念やキャラクターのシンボルマークを配しました。派遣YE生・来日YE生に、お土産としてお渡しします。

ピンバッチ



キャビネット構成員の方々に



キャビネット役員の方々に



クラブ三役の方々に
(公式訪問時にお渡しします。)



新入会員用
親しみやすいニックネームの James 君です。力強い精悍なホワイトベアを可愛いキャラクターにしました。

【 国際会長プロフィール・国際会長テーマ 】



2016～2017 年度

国際会長 L. ボブ・コーリユー

アメリカ

マーフリーズボロ・ライオンズクラブ所属

ボブ・コーリユー氏（米国テネシー州ミルトン）は、2016 年、日本の福岡で開催される第 99 回国際大会で、ライオンズクラブ国際協会の国際会長として選出されます。

コーリユー会長は、テネシー州の元裁判官および元法学部教授。

1978 年以来マーフリーズボロ・ライオンズクラブの会員であるコーリユー国際会長は、初代クラブ会長、ゾーン・チェアパーソン、地区ガバナー、キャビネット幹事、協議会議長など数多くの役職を歴任してきました。多くの新クラブ結成にも重要な役割を果たしてきており、最近では、弁護士や裁判官から成る新クラブ結成に取り組みました。ちなみにこのクラブは結成 1 年目に 75 人以上の会員増強を達成しました。

国際協会への貢献が認められ、リーダーシップ・アワード、ビルダー・キー賞、国際会長賞 3 回、さらには国際協会より会員に与えられる最高の荣誉である親善大使賞を含む多数の賞を受賞。ヴァンガード・オブ・メルビン・ジョーンズ・メモリアル、累進リンジー・ジェニングス・フェロー、累進メルビン・ジョーンズ・フェローとしても表彰も受けています。

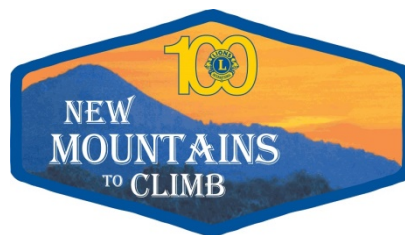
ライオンズでの活動に加え、米国ボーイスカウト連盟、青年会議所、米国赤十字社でも活躍しています。ミルトン市議員を務めたこともあるほか、米国陸軍予備軍の少佐でもありました。

同じくライオンで累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもあるダイアン夫人とのあいだには、5 人の子供と 4 人の孫がいます。

2016～2017 年度国際会長テーマ

次なる山を目指して

～NEW MOUNTAINS TO CLIMB



ボブ・コーリユー国際会長の故郷、テネシー州は、さまざまな風景と音にあふれています。なだらかに起伏する丘陵や山々、ミシシッピ川の流れ、そして農業、産業、野生の命などが織りなす風景や音が、テネシーの温かいもてなしの文化を育んだ独特の風土を作り出しています。テネシーの人々は、隣人が隣人を助け、見知らぬ者が見知らぬ者を助けるという、古き伝統に立って暮らしています。それゆえに、テネシーはこれからも「ボランティア・ステート」として末永く知られるでしょう。

少年時代にテネシーで身につけた伝統と、困難を乗り越えチャンスを活かして山中での生活を切り開いた先人たちの独立心を受け継いだコーリユー国際会長が、2016～2017 年度国際テーマとして掲げるのが「次なる山を目指して」です。

このテーマでは登山が、克服に最大限の努力を要する、困難で険しい課題の喩えとして描かれています。しかし、こうした山を乗り越えてこそ、私たちは成長することができるのです。一つひとつの山が、新しいチャレンジ、新しいチャンスを表しています。私たちの住む世界が絶えず変化するにつれ、奉仕の新たなチャレンジ、新たなチャンスが訪れます。その一つひとつが山なのです。そしてそれらの山々を登る時、ライオンズは世界をより良い場所にする機会を得ます。

ライオンズ奉仕の 100 年を祝うに当たり、私たちは過去に敬意を払い、現在を見つめ直しますが、見据えなければならないのは、未来です。次なる山を乗り越えようとするならば、後に続く次世代のライオンズたちに道を示し、奉仕の伝統を守るため、眼前に進むべき道を整えなければなりません。

奉仕の頂点に達する

山頂に達するのは、旅の終わりではありません。新たな旅の始まりです。新たなチャンスです。奉仕を通して導く。それこそが、われわれの強みなのです。奉仕こそが組織の存在意義の根底にあるべきというビジョンを全員が確実に共有するため、引き続き、ライオンズの奉仕イニシアチブと各種プログラムを吟味しなければなりません。これからも、人道奉仕におけるグローバルリーダーとしての地位を高めつつ、奉仕を通して導くべきなのです。

ライオンズは、環境保護、青少年の生活向上、飢餓をなくす取り組み、視力関連の奉仕活動という四つの主要分野をはじめとするさまざまな方法で、健やかな地域づくりに貢献しています。ライオンズはこれからも、奉仕の新たなチャンスを捉え、「われわれは奉仕する」のモットーを実現し続けます。高すぎる山はないのです。

2014年に100周年記念の取り組みが始まった際、ライオンズには次なる山である「100周年記念奉仕チャレンジ（CSC）」に登ることが呼びかけられました。CSCでは、2018年6月30日までに四つの主要奉仕分野で1億人以上の生活にインパクトを与えることをライオンズに勧めています。初年度に、私たちは目標の3分の1以上を達成しました。そして2年目を終えようとする今、3分の2の数字をゆうに越え、目標達成は目の前です。

地域社会とつながる

必要とされる奉仕を行うことで、揺るぎない絆が生まれ、ライオンズクラブは真に地域社会とつながることができます。大小問わずどんな地域でも、100周年記念レガシー・プロジェクトを行う機会があります。世界中のライオンズがこの新しい挑戦を受けて立ち、ライオンズの素晴らしい活動と、創立100年目にわれわれが登頂した山々を、会員と地域住民にいつまでも思い出させてくれる永続的な遺産（レガシー）を築き上げています。レガシー・プロジェクトでは、20,000クラブ以上の参加を目指しています。この特別事業に参加し、ライオンズのロゴを永続的な形で明確に表示すること、そして国際協会に事業を必ず報告することが、すべてのライオンズに奨励されています。レガシー・プロジェクトについての詳細は、「Lions100.org」ウェブサイトに掲載されています。

次の山を越えるためのリーダー

増え続ける奉仕へのニーズに応えるべく、行く手にそびえる山を一つひとつ越えていくためには、効果的かつ効率的にそれを行う必要があります。それを可能にするのが、優れたリーダーの存在です。奉仕を強化するには、力強いリーダーシップが不可欠です。そして奉仕を強化することが、強いクラブ作りにつながり、強いクラブがメンバーの誇りと、積極性、情熱を生むのです。

100年祭を祝うに当たり、われわれは未来に向けて計画を立てなければなりません。リーダーシップの育成こそが、奉仕の次世紀に突入しても、時代にマッチした、活力にあふれる組織であり続けるための手段です。引き継ぎを念頭に置き、長期に渡りわれわれを導き支えることのできる、知識と、能力と、情熱と、先進的な考えを持ち併せたライオンズリーダーを、十分に確保しておくことが重要となります。

頂上を目指すのであれば、有能なリーダーだけでなく、正しい道具を揃えることも必須です。ライオンズのリーダーシップ育成における各種プログラムや、ツール、資料によって、世界何千人というライオンズがスキルを磨き、課題にうまく対応するだけでなく、未然に防ぐ技術をも身につけてきました。会場で行う研修でも、オンラインでの研修でも、好みに合ったトレーニングを受けることが可能です。国際協会とGLTが用意する幅広い研修と育成のチャンスを利用することで、さらなる高みを目指すよう、コリュー国際会長はすべてのライオンズに呼びかけています。

新会員勧誘によるインパクト拡大でチームをつくり上げる

ライオンズクラブ国際協会は、他者により良い奉仕をするという共通目標に向かい手を取り合う、多くのチームで構成されています。この目標を目指す上で、私たちは個々の役割と責任を理解し、目標達成という共通のフォーカスを保ち、自分を信じ、互いを信頼し、チームメンバー一人ひとりの個性を尊重します。この五つの価値観こそが、良いチームに欠かせないものであり、頂点に達することを可能にしてくれるものです。

チームの一人ひとりが重要であり、全員が影響力を持っています。私たちは仲間を増やさなければなりません。一人の新会員が奉仕によって影響を与える人の数は最低 30 人です。つまり、1,000 人が新たに入会すれば、3 万人の人生に影響を与えることができるのです。これこそ、私たちが組織を拡大しなければならない理由です。新会員を招請してインパクトを高める必要があるのです。

100 周年記念期間の目標は、すべてのクラブが毎年少なくとも 3 人の新会員を増やし、すべての地区が少なくとも一つの新クラブを結成することです。これは約 13 万 8,000 人の新会員を意味します。たった 5% の増加にしか相当しませんが、それによって奉仕のインパクトを受ける人は 410 万人も増えることになるのです。力を合わせれば、この頂点にたどり着くことができます！

山々をつなげる

山というのは決してそれだけで孤立しているものではありません。つながっているものです。テネシー州を縦断するアパラチア山脈のような連なりの一部なのです。ライオンズもまた、奉仕を通じ、友情を通じ、またライオニズムを通じて、つながっています。世界中のライオンズがインターネットを介して互いにつながるようになり、世界は前よりも小さくなっています。

これまで以上にライオンズはテクノロジーを取り入れ、ソーシャルメディアを駆使して一般社会とつながっています。オンライン例会を試しているクラブもあります。国際役員たちは、一国にいながらにして、他国で集まるライオンズに講演を行うこともできるようになりました。電子的なコミュニケーションの使い道は多岐にわたります。より幅広い、より多様な相手に情報を伝達できること、時間と経費の節約になることなど、そのメリットもまた多数あります。

ライオンズの創始者、メルビン・ジョーンズは、ライオンズやまだライオンズクラブのない地域と、個別に連絡を取ることに膨大な時間を費やしました。彼の手紙は、ライオンズを動かし、新クラブ結成へと駆り立てました。私たちが未来を計画する上で、テクノロジーは重要な役割を占めます。ライオニズムの効率、便宜、拡大の精神にもとづき、メルビン・ジョーンズもこれを認めてくれることでしょう。

次なる山、そしてその向こうへ

100周年祭が終わってからも、私たちの行く手には越えるべき新しい山が現れ続けるでしょう。前進すればするほど、世界各地で高まり続ける奉仕のニーズが次々と立ちはだかるでしょう。だからこそ、私たちは前進しなければなりません。ライオンズは、その山の一つひとつを乗り越えなければなりません。その山とは、私たちを必要とする人々なのですから。

「LCI フォワード」は、ライオンズの奉仕のインパクトを拡大し、現在の運営体制を改善して、ライオンズ奉仕のもとに人々を一つにする新たな道を模索するために考案された戦略計画です。LCI フォワードの主なゴールは、年間 2 億人以上、つまり現在の 3 倍以上の人に奉仕を提供することです。

さらには、世界で最もよく知られるボランティア組織／ブランドを目指すと同時に、クラブ、地区、そしてライオンズ・ファミリーに最上級のサービスを提供すること、そしてライオンズの名のもとに人道奉仕活動に人々を巻き込んでいくための斬新な方法を探ることも掲げています。

2017 年のシカゴ 100 周年記念大会の際には、新しい主要グローバル奉仕分野を大々的に発表する予定です。これは、すべてのライオンズが受け入れ、一般社会に広く認識される、統合的な奉仕のプラットフォームとなるものです。世界中のライオンズが、登るのを心待ちにする、新しい山なのです！

頂上からの眺め

次なる挑戦。次なる目標。次なる奉仕の対象。次なる山を目指して、私たちの仕事はまだまだ終わりません。奉仕の次のレベルを目指しながら、次世代のライオンズのための道筋を残さなければならないことを、私たちは知っています。コーリユール国際会長は、新たな高みへと引き続き登っていくこの旅に加わるよう、すべてのライオンズを招いています。



【 地区運営基本方針 】

100周年 未来を見据え 叡智を絞り考えて 極めよう奉仕の世界

(ガバナーズ・テーマ)

ライオンズクラブの100年の歴史は奉仕の歴史です。ライオンズメンバーは、それぞれの地域でそれぞれの社会や人々に、奉仕の心で接してまいりました。そして、その地域社会から感謝と感動をもらいました。アクティビティを通して、メンバーが自らの意識を高め、それがさらなる活力となっていきます。ライオンズは、地域社会の役に立つアクティビティを行ない、その魅力を磨き続けることが大切です。

ライオンズクラブの創立者メルビン・ジョーンズの遺稿を改めて心に刻み行動して参りたいと思います。

「他人に尽くす事から始めるのでなければ、人生の大はなしとげられない」

☆会員増強

クラブエクステンションは、ライオンズクラブ永遠のテーマです。

クラブの維持・発展にはアクティビティとこれを行う人的資源と経済的資源が必要です。

厚い人材基盤と、経済的基盤のためにも、人材の確保は最優先です。

地域社会に役立つ魅力あるアクティビティは、新たな仲間を誘うチャンスです。

会員増強にテクニックは必要ありません。地区内の全メンバーが、このままでは奉仕の輝きが消えてしまうという危機感を持って、ほとんどのメンバーがそうであったように、お知り合いを誘ってください。皆さん一人一人の人脈、人間関係、義理人情が最大の武器です。あきらめずに女性や若者だけでなく同世代も誘いましょう。まず行動することです。

☆奉仕活動の充実

ライオンズクラブの活動の基本はアクティビティです。現在我々が行っているアクティビティも数多くあります。年に数度のライオンズデーを設けアクティビティテーマを決めた奉仕活動の日を作りたいと思います。東日本・熊本復興支援 / 薬物乱用防止 / 社会福祉・障がい者支援 / 青少年育成 / 献血・骨髄移植推進・献眼・献腎・臓器移植推進 / 環境保全とアクティビティは多種多様です。これらのアクティビティを行う個々のクラブの情報を把握・提供し、クラブの新しいアクティビティにつなげて頂けるよう、又 キャビネットからも、積極的に提案致します。

☆アクティビティに対する専門的知識を数多く修得しよう

献血は何歳からできるの？ 又 何歳までできるの？

献眼は何歳までならできるの？ 骨髄移植ドナーの上限年齢は？

一般の方々から聞かれても、すぐに答えられる奉仕のエキスパートになれるようになりましょう。来期は各委員会に諮問をし、分かりやすくスキルアップが出来るセミナーを開催し、又 受講終了の際には、修了証やカードの発行を検討しています。

☆若い力を育てよう

魅力ある社会を築くのは、次代を担う青少年です。私たちは、地域社会の青少年の健やかな成長を願っています。薬物乱用防止・YCE・ツリークライミング・いじめ対策の各事業には、地区とクラブの密接なコミュニケーションと相互協力が必要不可欠です。青少年を対象としたアクティビティを重要視し、情報提供と共に地区の各種活動へのクラブの参加とクラブの奉仕活動を応援します。メンバーの皆様と一丸となって、若い力を育てましょう。

☆1年の集大成は年次大会にあり

代議員総会を含め重要事項の決定や報告等はすべて年次大会にて行われます。

また、分科会も各クラブメンバーの皆様に、キャビネット活動をご理解頂く大切な会議です。分科会の委員長を務められますリジョン・チェアパーソンの皆様、顧問である名誉顧問の皆様にも、今まで培ってこられた「良き伝統」のノウハウを展示頂き「紡ぎ織りなす」1年の締めくくりになりますよう進めて参ります。

☆ライオンズクラブ創立100周年を祝おう

1917年 アメリカ シカゴでライオンズクラブ国際協会が生まれて100年目をむかえます。ライオンズクラブの伝統ある奉仕活動を 330-A 地区より全日本に向けて、又、全世界に向けて発信していきたいと考えております。

過去に敬意を払い、現在を見つめ直し、未来を見据える、メンバーのための地区年次大会を開催します。また、国際協会が進める 100 周年記念奉仕チャレンジに引き続き、100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトを積極的に推進し、地域社会とのつながりを強めていきましょう。奉仕の伝統を守りながら、時代にマッチし活力あふれる組織であり続けるために、後に続く次世代のライオンの進むべき道を整えてまいります。

【 委員会について 】

[各種委員会の組織]

地区の効果的な運営と目標達成のために、下記の 30 委員会を設置します。

委員会活動は地区運営の要であり、活性化の原動力です。

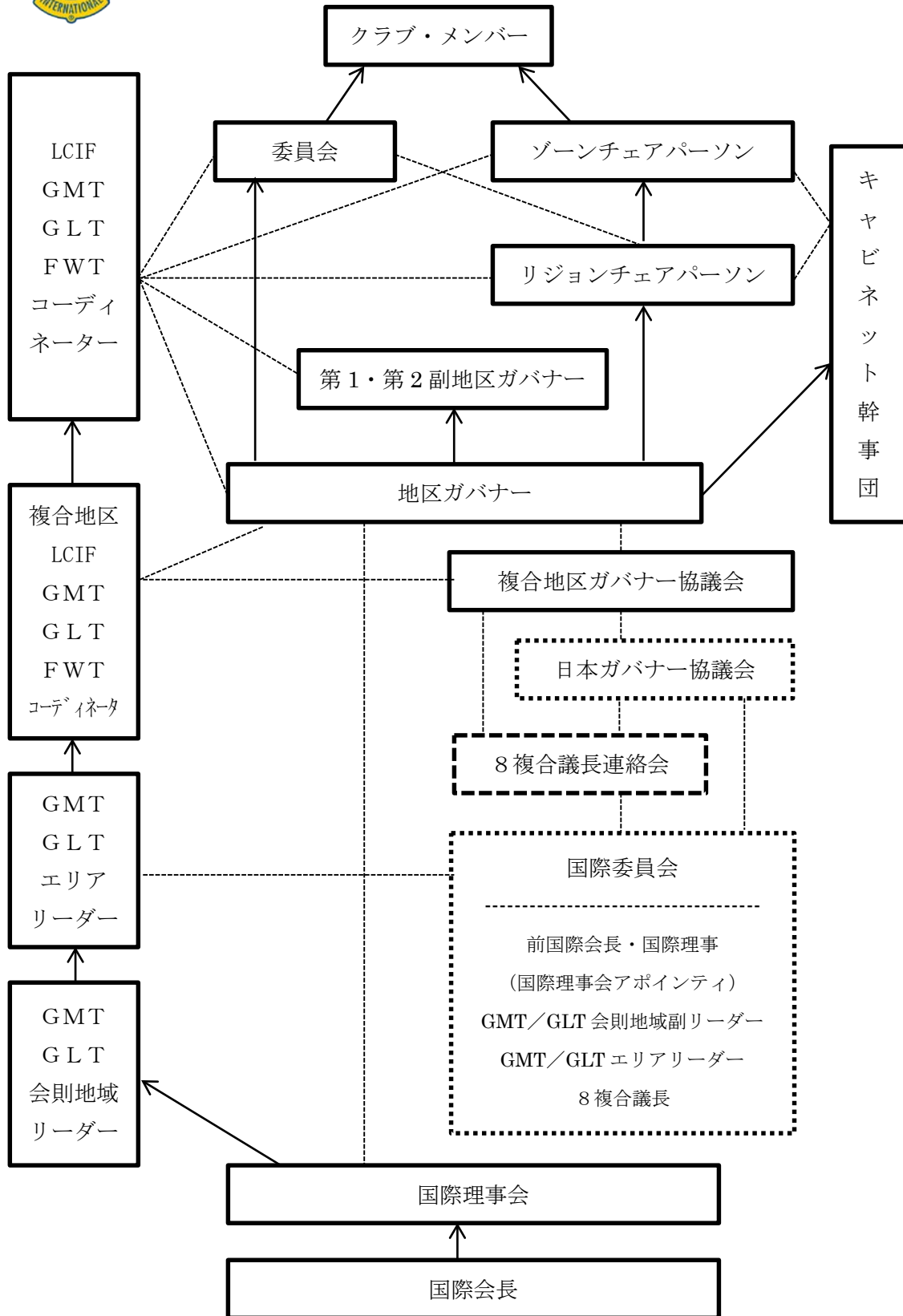
各委員長は、ガバナーの地区運営方針を理解してリーダーシップを発揮し、副委員長の協力を得て委員とのコミュニケーションを深め、委員会活動方針を立案・計画し、必要な手続きを経て実行して下さい。

- (1) 中長期ビジョン・会則委員会
- (2) 会員増強・FWT 委員会
- (3) エクステンション委員会
- (4) 指導力育成委員会
- (5) クラブサクセス・CEP・会維持委員会
- (6) クラブアクティビティ活性化プロジェクト(CAP)委員会
- (7) 青年アカデミー委員会
- (8) LCIF 推進委員会
- (9) 環境保全委員会
- (10) 広報情報委員会
- (11) PR 委員会
- (12) IT 委員会
- (13) YCE 委員会
- (14) 青少年健全育成委員会
- (15) いじめ対策・青少年育成委員会
- (16) 薬物乱用防止特別委員会
- (17) 女性参画・レオ推進委員会
- (18) 国際協調・モンゴル友好委員会
- (19) 献血・献眼・献腎・骨髄移植推進委員会
- (20) 社会福祉・障がい者支援委員会
- (21) 緊急対策・災害援助委員会
- (22) 国際大会参加委員会
- (23) 東日本・熊本復興支援特別委員会
- (24) オリンピック・パラリンピック支援委員会
- (25) 第 63 回年次大会委員会
- (26) 100 周年記念委員会
- (27) 組織連携・事務所移転検討委員会
- (28) 組織再編・コンプライアンス委員会
- (29) 選挙管理委員会
- (30) 短期ビジョン委員会



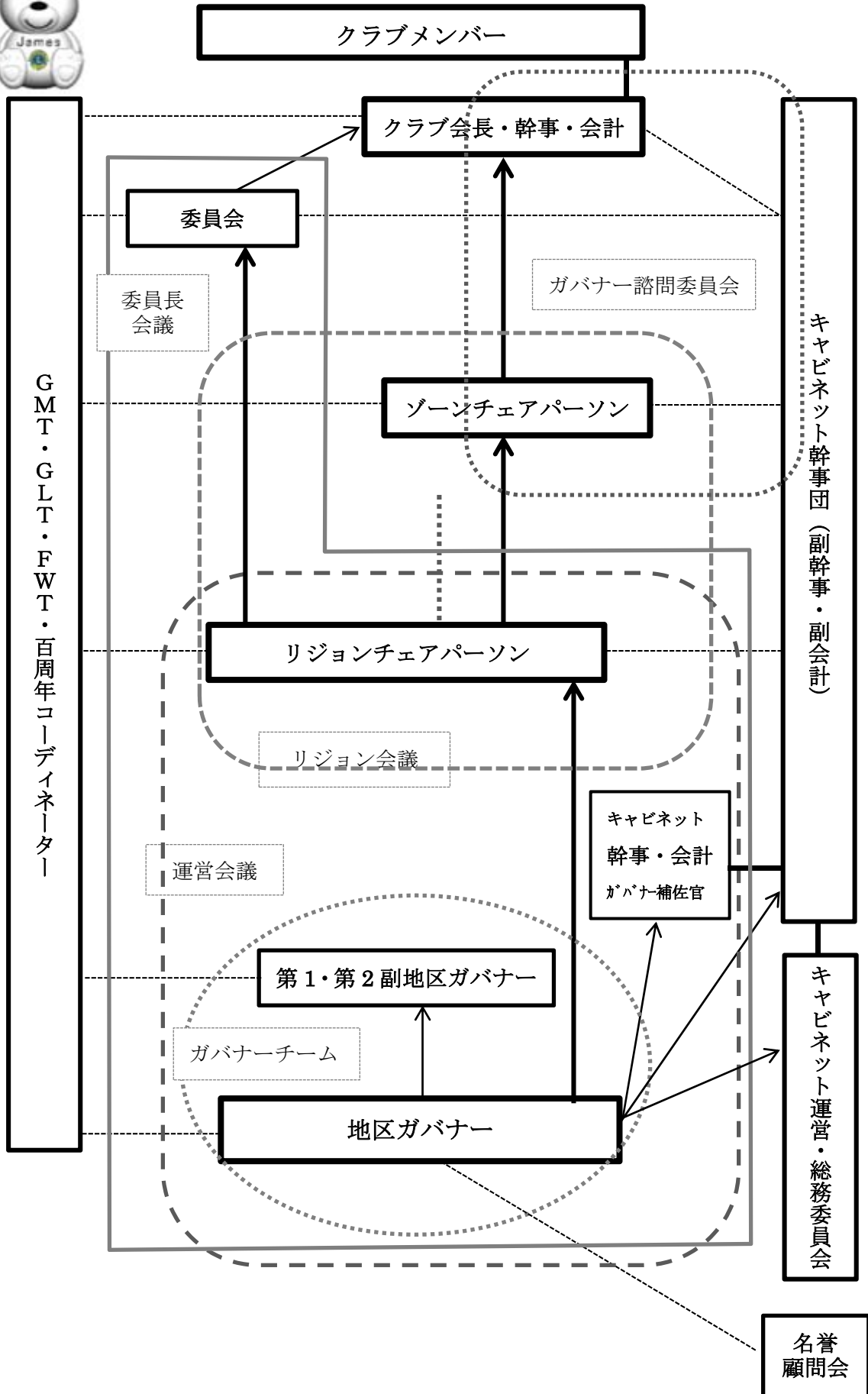


【 L C I 組織図 】





【 330-A 地区 組織図 】



【 主な地区役員について 】

[ガバナー]

地区ガバナーは地区の最高業務執行役員であり、ガバナー・チームのリーダーを務めます。地区ガバナーの主な責任は、以下の通りです。

- 所属地区における国際協会の代表として、国際協会の目的を推進し、任務を遂行する。
- グローバル会員増強チームを監督すると共に、会員増強及び新クラブ結成の管理・推進
- グローバル指導力育成チームを監督すると共に、クラブ及び地区レベルにおける指導力育成の管理・推進
- ライオンズクラブ国際財団、及び協会のすべての奉仕活動を推進
- キャビネット会議、大会、その他の地区会議の議長を務める
- クラブ間の協調を図る
- キャビネット役員及び地区の委員の指導監督
- 地区内のライオンズクラブの運営が円滑に行われるよう、年に1度クラブを訪問

[第1副地区ガバナー]

第1副地区ガバナーは、会員増強、新クラブ結成、地区行事の推進において地区ガバナーを補佐します。

[第2副地区ガバナー]

第2副地区ガバナーは、会員維持および協会のさまざまなプログラムについてライオンズの意識を高めることにおいて地区ガバナーを補佐します。

[キャビネット幹事]

地区ガバナーの指揮のもとに、キャビネットの運営事務を担当、管理します。

[キャビネット会計]

地区ガバナーの指揮のもとに、キャビネットの出納を担当、管理します。

[ガバナー補佐官]

地区ガバナーの指揮のもとに、キャビネット運営委員会・キャビネット総務委員会の委員長として、地区ガバナーを補佐します。

[キャビネット副幹事・副会計]

キャビネット副幹事、副会計は、地区ガバナーの指揮のもと、キャビネット幹事、会計を補佐します。なお、キャビネット会議の構成員ではなく、議決権もありません。

[コーディネーター] (GMT/GLT/FWT/100 周年)

それぞれのコーディネーターは、地区ガバナーチームの指導のもと、関係委員会と連携し、継続的、集中的、総合的に各分野に尽力します。各々のチームに必要な情報や助言を提供し意欲を喚起するために努力します。

○それぞれのチームは、ガバナーチーム、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、関係委員会により構成します。

GMT (グローバル・メンバーシップ・チーム=会員増強) コーディネーター

- ・会員数とクラブ数の増加
- ・長期的な会員維持を実現

GLT (グローバル・リーダーシップ・チーム=指導力育成) コーディネーター

- ・リーダーとなる人材を発掘し育成
- ・リーダーが最大限に技量を発揮できるよう研修・教育の実施

FWT (ファミリー・ウーマン・チーム=女性・家族会員支援) コーディネーター

- ・女性会員や家族会員（二人目以降）の活動支援および新会員獲得

100 周年コーディネーター

- ・ライオンズクラブ 100 周年記念プロジェクトの推進

○それぞれのコーディネーターは、各分野での情報や助言を提供するために、必要に応じて、各ゾーンでのガバナー諮問委員会やクラブを訪問します。

[リジョン・チェアパーソン]

リジョン・チェアパーソンは、ガバナーの方針を理解し、ガバナーを補佐します。

○ガバナーの指揮のもとに、リジョン内の運営の責任者としてゾーン・チェアパーソンに対し適切なゾーン運営のアドバイスと指導、監督

○地区ガバナーの任命により担当する地区委員会の相談役として担当する地区委員長の活動にアドバイスと指導、監督

○リジョン内のゾーン、クラブの現状および担当委員会の活動状況を把握し、必要な情報をガバナーに伝達する

○会員減少の著しいクラブ、ガバナーの方針実現に困難なクラブ等がある場合には、その推移を把握し、ガバナーへ報告とともにガバナーの指揮の下、適切に対処する

○年 1 回、リジョン内クラブを訪問し、地区ガバナーに報告

○GMT コーディネーターと連携し、新クラブ結成及び会員増強に積極的役割を果たす

○GLT コーディネーターと連携し、クラブ強化・活性化と指導者育成に積極的役割を果たす

○地区および複合年次大会、OSEAL フォーラム、国際大会への積極的な参加を呼び掛けるよう指導する

[ゾーン・チェアパーソン]

ゾーン・チェアパーソンは、地区ガバナーおよびリジョン・チェアパーソンの指導・監督のもとに、ゾーンの責任者としてゾーン運営にあたります。

- 各クラブの運営に必要な助言を行い、クラブにやる気を起こさせ、積極的にクラブとコミュニケーションを図り、ゾーン内の調整に努める
- ゾーン・チェアパーソンは、キャビネットとクラブの橋渡し役
- ガバナー諮問委員会の主催は、最も重要な任務であり、キャビネット会議の伝達事項を正確に各クラブに伝え、ゾーン内の各クラブの状況に関する協議および意見交換を実施し、会議終了後に報告書をキャビネット並びにリジョン・チェアパーソンに提出
- ガバナー諮問委員会の結果については、各クラブ会長に対し、例会等でメンバーに報告するよう指導
- 年1回以上、ゾーン内クラブを訪問しチャーターナイトや例会に出席
- GMT コーディネーターと連携し、新クラブ結成および会員増強に積極的役割を果たす
- GLT コーディネーターと連携し、クラブ強化・活性化と指導者育成に積極的役割を果たしてください。
- 地区および複合年次大会、OSEAL フォーラム、国際大会への積極的な参加を呼び掛けるよう指導する
- ガバナー公式訪問の実施については、リジョン・チェアパーソンや各クラブ会長、ゾーン内の地区役員と協議し適切に主催する

[委員長]

各種地区委員会委員長は、地区組織の重要な一部を占め、リジョン・チェアパーソンやゾーン・チェアパーソンとともに、地区ガバナーを補佐し、地区ガバナーの指揮のもとに、地区の目標達成のため諸活動を遂行します。

委員長は、ガバナーの地区運営方針を理解してリーダーシップを発揮し、副委員長の協力を得て委員とのコミュニケーションを深め、委員会活動方針を立案・計画し、必要な手続きを経て実行して下さい。



【 各種会議について 】

[ガバナー・チーム]

地区ガバナー、第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナーが地区ガバナー・チームを構成し、力を合わせ地区において効果的にリーダーシップを発揮します。

- 地区ガバナーは、チームのリーダーとして地区運営全般を監督するだけでなく、チームの戦略策定、両副地区ガバナーの指導および意欲喚起、総合的なチームの実績、監督にも責任を持ちます。
- 地区を効果的に管理・運営し、地区を発展させ、将来に向け活力を高めていくために、ビジョン・目標・進路の共有、役割遂行への決意、多角的なコミュニケーション、権限の共有、多様性に対する理解、相互援助および信頼が大切です。

[名誉顧問会]

前・元ガバナーの中から地区ガバナーが任命した名誉顧問によって構成され、地区の調和を図ります。

- 名誉顧問会は、地区ガバナーの諮問機関であり決定機関ではありません。
- 議長は前ガバナーが任命され、地区の最高責任者である地区ガバナーの要請により、名誉顧問会議長の主宰で開催します。

[キャビネット会議]

キャビネット会議は、会計年度中に少なくとも 4 回開催し、地区運営方針と計画を協議決定し実行します。

- キャビネット会議は、地区ガバナー、国際理事、前地区ガバナー、第一及び第二副地区ガバナー、キャビネット幹事及び会計、ガバナー補佐官、各コーディネーター (GMT/GLT/FWT/100 周年)、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区委員会委員長、監査委員で構成します。

[各種委員会]

地区の効果的な運営と目標達成のために、委員会を設置し、委員長を任命します。

委員会活動は地区運営の要であり、活性化の原動力です。各委員長は、ガバナーの地区運営方針を理解してリーダーシップを発揮し、副委員長の協力を得て委員とのコミュニケーションを深め、委員会活動方針を立案・計画し、必要な手続きを経て実行して下さい。

委員会開催通知の発送はキャビネット事務局より行います。開催通知書面は開催日 2 週間前に提出して下さい。委員会の会議次第は、開催日 5 日前までにキャビネット事務局に提出し、会議後 1 週間以内に議事録を提出して下さい。

[ガバナー諮問委員会]

地区ガバナー及びキャビネットに対する諮問機関の役を果たし、ゾーン・チェアパーソン

を委員長として、その他、ゾーン内各クラブの会長及び幹事、会計から構成されます。

ガバナー諮問委員会は、ゾーン内のクラブが円滑に運営されるよう計らうために開催され、会議を主催するゾーン・チェアパーソンには、クラブ間の調和を促進し奨励する絶好の機会となり、また、クラブにとっては、クラブ運営のアイディアを交換する良い機会ともなります。

少なくとも年に3回、キャビネット会議終了後、2週間以内にガバナー諮問委員会会議を開催し、第1回目は、国際大会終了後90日以内を開いてください。なお、必要に応じて、各コーディネーターや複合地区役員、330-C地区役員に出席を要請して、情報提供や助言をいただいでください。

[ガバナー公式訪問]

地区ガバナーは、年一回親しく各クラブを訪問し、直接メンバーとコミュニケーションを図り、キャビネットを身近に感じていただきながら、健全なクラブ運営を支援いたします。

- ガバナー公式訪問には、クラブの全メンバーの出席を希望します。
- クラブを個別に訪問する代わりに、リジョンまたはゾーンでのクラブ合同訪問を希望します。
- 公式訪問日は、原則として、8月末～10月の毎週2、3日を先着順で決定します。
- 各クラブには事前に文書によるクラブ運営に関する質問書を送付しますので、ご回答下さい。
- 公式訪問セレモニーの前に、クラブ役員との懇談の時間を設営してください。
- ガバナー公式訪問は、以下を目的とするものです。
 - ・クラブが、国際協会の会則及び付則並びに方針に従って機能しており、有意義な地域奉仕事業、優れた財務処理を実行しており、効果的な内部コミュニケーションを維持し、会員の勧誘、オリエンテーション、会員の維持を実施しており、地区、複合地区および国際レベルの行事に参加していることの確認
 - ・国際会長、国際理事会のメッセージの伝達
 - ・ライオンズに関する諸問題があれば、それについて討議し、解決策を講じる

地区ガバナーは、ライオンズの100年の奉仕を祝うために特別にデザインされた100周年記念バナーを公式訪問先に持参し、メンバーの皆様にサインをいただきます。こうして集めたメンバーのサイン入りのバナーを世界中からシカゴに集め繋ぎ合わせて、世界中のメンバーのサインが入った100周年記念バナーがシカゴの世界大会で展示されます。

[OSEALフォーラム]

東洋東南アジア地域の親善を深めることを目的としてエリアフォーラム（地域大会）が開催され、地区およびクラブ役員の指導、教育、意欲喚起を行い、奉仕活動についての情報交換や意見交換をする場にもなっています。

開催日：2016年11月10日（金）～13日（月）

場 所：香港

ガバナーズナイト：2016年11月11日（予定）

[地区年次大会]

第63回地区年次大会は、330-A地区のメンバーのためのライオンズクラブ100周年記念地区年次大会として、地区の最高決議機関である代議員総会、メンバーのためになるセミナー、思い出に残るような式典、懇親会で、メンバーの皆様とライオンズクラブ100周年のお祝いをしたいと思っております。

地区大会の目的は次の通りです。

- 地区のためになる行事を催す。
- メンバーや地区役員に関心を持ったセミナーを開催する。
- 地区内メンバーの親睦を図る。
- 地区の一般業務を取り扱う。
- 国際協会及び地区の会則及び付則に基づき、地区内の問題に取り組む。
- 決議事項を採択する。
- 地区ガバナー、第1及び第2副地区ガバナー、並びに他の役員を選出する。

開催日：2017年4月22日土曜日

場 所：東京プリンスホテル

[複合地区年次大会]

ホスト地区：330-B地区

開催日：2017年5月14日（日）

場 所：横浜ロイヤルパークホテル（予定）

[世界大会]

国際大会では、国際役員選挙、国際会則の改正等、国際協会の基本方針に関する投票が行われますが、世界各国から集まるメンバーと大会諸行事を楽しむとともに、大いに他国のメンバーとの親睦を深めてください。

開催日：2017年6月30日（金）～7月4日（火）

場 所：アメリカ シカゴ

ガバナーズナイト：2017年7月1日または2日（予定）



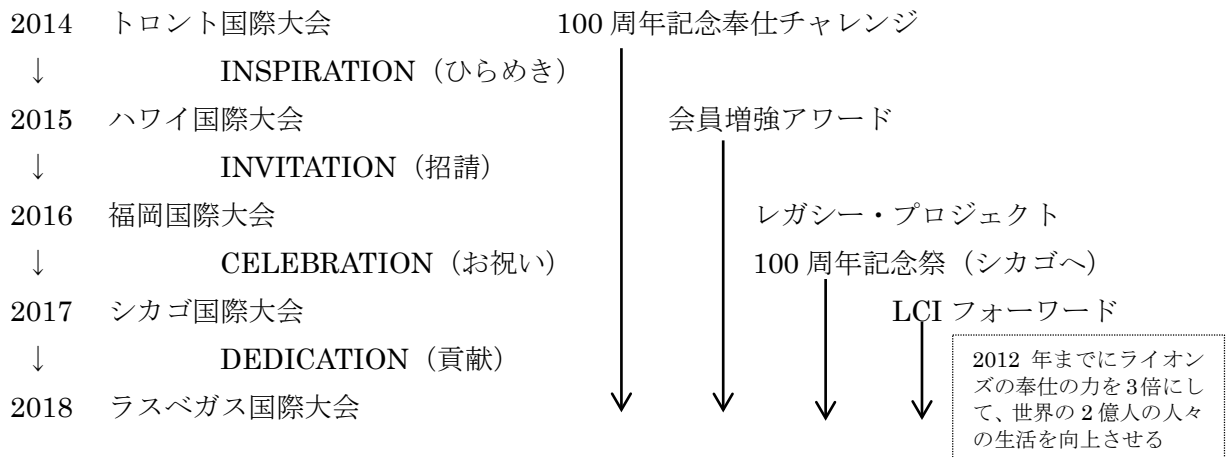
【ライオンズクラブ 100 周年記念祭について】



ライオンズクラブ創立 100 周年祭は、すべての国と地域のすべてのライオンズメンバー、すべてのライオンズクラブが参加できるよう計画され、2014 年にトロントの国際大会で 100 周年記念奉仕チャレンジの発表が行われ、創立 100 周年記念祭がスタートしました。2018 年 6 月 30 日までの

期間に世界中の人々に奉仕を行おうと、ライオンズの積極的な行動を呼びかけるものです。

[100 周年記念スケジュール]



100 周年記念祭は、ライオンズ創立 100 周年を祝うために世界中のライオンズを団結させます。以下は、記念祭期間中にクラブとメンバーの皆様が参加できる三つの方法です。

○100 周年記念奉仕チャレンジ

青少年、視力、食料支援、環境保全といった四つの分野において、世界中の 1 億人の人々に奉仕をもたらすという意欲的な目標です。青少年、視力、飢餓、



そして環境の四つの各奉仕分野において少なくとも一つの 100 周年記念奉仕チャレンジ事業を実施してください。クラブがチャレンジを行った 100 周年記念奉仕事業を、必ず MyLCI を使って報告してください。この奉仕チャレンジの最も重要なことは、私たちが何百万人もの人々の生活に大きな変化をもたらすことができるということです。

○100 周年記念会員増強アワード

新会員を獲得してクラブの奉仕の力を高めるために、少なくとも 3 人の新会員をクラブに加えることを、クラブの目標としてください。特別なアワードを受賞するチャンスです。

- ・メンバー：アスクワン＝一人誘おう
- ・クラブ：3 人の新会員入会
- ・地区：1 つの新クラブ結成



【 アワードについて 】

アワード内容とその対象については、キャビネット会議での承認を経て、正式に決定いたしますが、基本方針については、以下の通りです。

地区年次大会アワード

- ・各アワードは、年次大会アワード選定会議により優秀賞を複数選定し、キャビネット会議にて承認の後、決定します。
- ・各部門の最優秀賞は、各部門の優秀賞の中から選定し地区年次大会にて発表します。
- ・アワードの種類により対象期間が異なります。
- ・年次大会アワード選定会議の構成員については、第二回キャビネット会議にて決定します。

○100周年記念奉仕チャレンジ・アワード

(対象期間：2014年7月1日から2017年1月31日)

① 奉仕チャレンジ〔青少年〕部門優秀賞

青少年健全育成に関するアクティビティで地域社会に貢献したクラブ
(薬物乱用防止教室開催、YCE、ライオンズクエスト事業を含む)



② 奉仕チャレンジ〔視力〕部門優秀賞

視力に関するアクティビティで地域社会に貢献したクラブ
献血、献腎、骨髄移植推進等、健康に関する事業で地域社会に貢献したクラブ



③ 奉仕チャレンジ〔食糧支援〕部門優秀賞

食糧支援に関するアクティビティで地域社会に貢献したクラブ
被災地支援や高齢者、介護施設等への支援などで社会福祉に貢献したクラブ



④ 奉仕チャレンジ〔環境保全〕部門優秀賞

環境保全に関するアクティビティで地域社会に貢献したクラブ



○100周年記念会員増強アワード

(対象期間：2015年7月1日から2017年3月31日)

- ① 会員増強優秀賞 会員の純増数が多いクラブ
- ② 会員純増率優秀賞 会員の純増率が高いクラブ
- ③ 会員退会防止優秀賞 会員の退会者が少ないクラブ (物故は除く)
- ④ 新会員招請優秀賞 新会員を多数スポンサーしたメンバー



○100周年記念レガシー・プロジェクト・アワード

(対象期間：2016年7月1日から2017年1月31日)

・レガシープロジェクト優秀賞

- 目に見える形の物を地域社会に寄贈し貢献したクラブ
- ライオンズクラブを地域社会に大きくPRしたクラブ



○100周年記念年次大会アワード

(対象期間：2016年7月1日から2017年1月31日)

① LCIF クラブ協力優秀賞

LCIFに献金額のクラブ

② 指導力育成優秀賞

- 各種セミナーへの参加者が多いクラブ
- クラブで指導力育成プログラムを実施したクラブ

③ 大会参加優秀賞

国際大会、OSEALフォーラムに積極的に参加したクラブ
(シカゴ国際大会の事前申し込みを含む)

④ ガバナー特別賞

- その他、ライオンズクラブの方針にそったクラブ運営、アクティビティで地域社会に貢献したクラブ
- ライオンズクラブ国際協会の目的を推進し、地区運営方針に沿って、地区や地域社会に貢献した個人
- 2016年4月1日～2017年3月31日に在籍50年を迎えたメンバー



上記以外のアワード対象アクティビティについても、年次大会アワード選定会議およびキャビネット会議において承認を得られる場合には、別途表彰いたします。